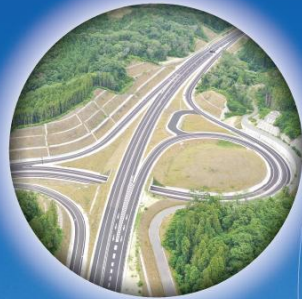


主要地方道 いわき上三坂小野線

小名浜道路の開通効果



交通



救急



物流

強靱化



観光

経済



実現可能



福島県いわき建設事務所

小名浜道路の事業概要

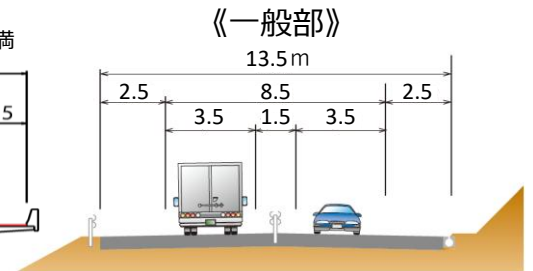
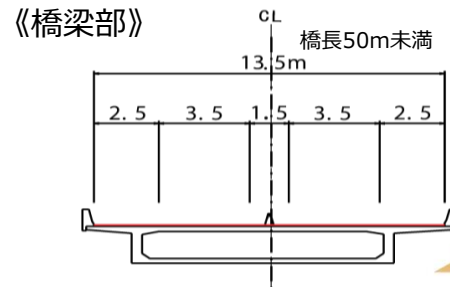
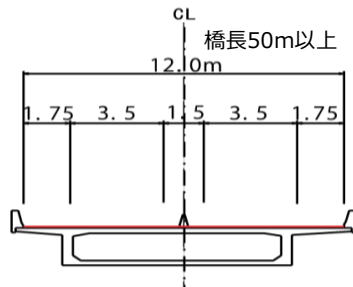
延長約8kmの自動車専用道路として令和7年8月7日に開通
常磐自動車道と直結し、全区間無料で通行可能



事業の概要

区間	起点:いわき市泉町 終点:いわき市山田町
道路規格	第1種第3級(自動車専用道路)
設計速度	80km/h
車線数	2車線
構想発表	平成24年10月23日
路線発表	平成25年7月28日
都市計画決定	平成26年4月1日
常磐道との連結許可	平成26年8月8日
起工式	平成28年11月19日
開通日	令和7年8月7日

標準横断面図



並行路線の交通が小名浜道路に転換 県道いわき石川線等の主要交差点における渋滞が解消・緩和

交通量の変動状況

小名浜道路開通後、県道14号や国道289号の交通が小名浜道路に転換
横断軸の道路網が強化されたことで、断面交通量が4.7%増加

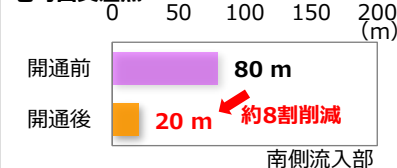


出典：交通量調査結果 (開通前 R3.11月、開通後 R7.11月)

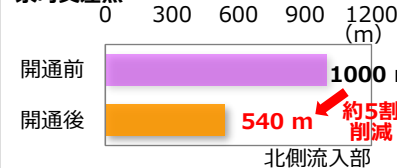
主要交差点の渋滞状況

小名浜道路に交通が転換したことで並行路線の交通量が減少し、
主要交差点の渋滞が解消・緩和

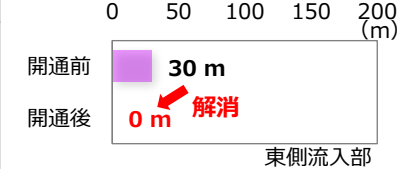
吉町田交差点



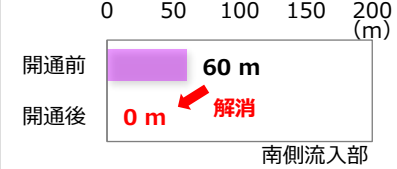
泉町交差点



碓田西交差点



本町交差点



出典：渋滞長調査結果 (開通前 R7.7月、開通後 R8.2月)

小名浜エリアを繋ぐ効率的な配送ルートとして活用 物流事業者の労働環境改善・配送遅延減少に寄与

市内配送ルートの転換(例:いわき市南台~小名浜)

小名浜道路を利用した効率的な市内配送ルートに転換
所要時間短縮により、物流の生産性向上(運送回数の増加)に寄与



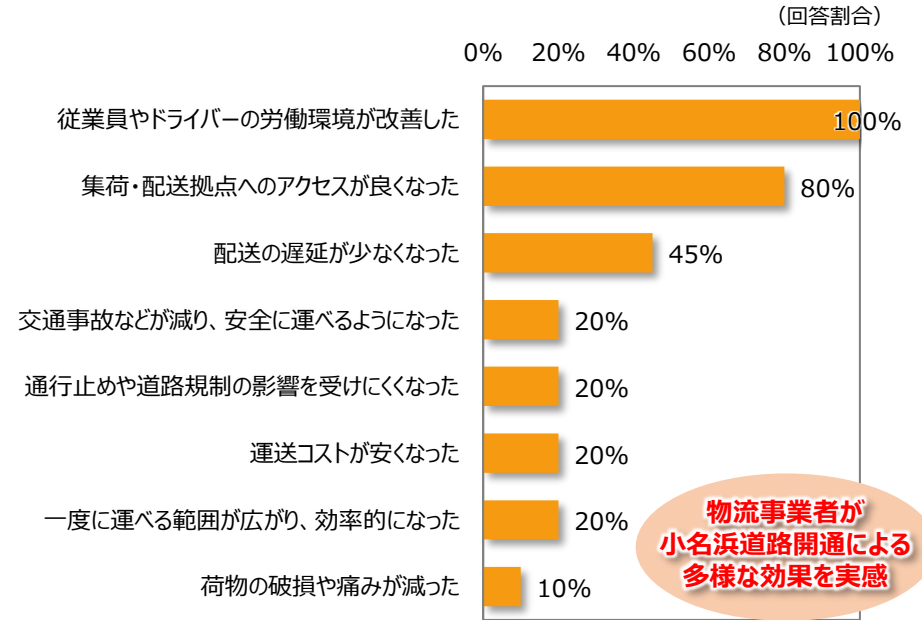
《古紙を運ぶ物流事業者の声》



- いわき市南台から小名浜港まで配送を行っていますが、小名浜道路の開通を機に、小名浜道路経由の運送ルートに変更しました。
- 所要時間短縮効果により、1日あたりの運送回数が1.5倍に増えました。(開通前:4往復/日、開通後:6往復/日)

物流事業者による開通効果の実感

多くの物流事業者が労働環境改善やアクセス向上の効果を実感
加えて、バイパス機能(交通円滑化、安全性向上等)の効果も実感



(小名浜道路を利用する物流事業者20社のヒアリング調査をもとに集計(複数選択可))

《セメントを運ぶ物流事業者の声》



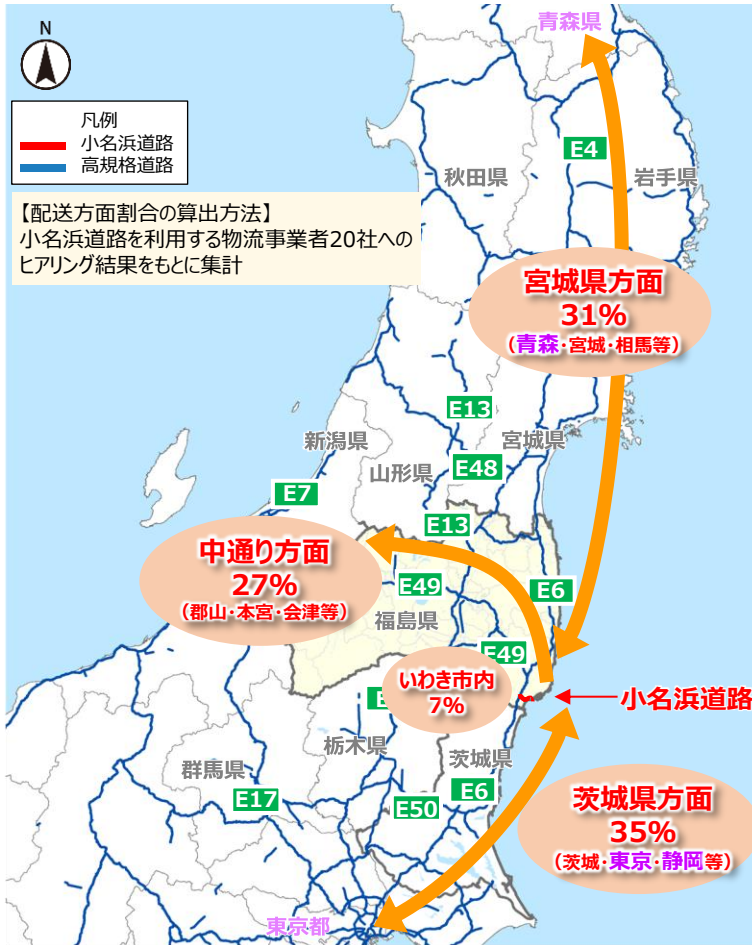
- 開通により、配送遅延の減少やアクセス向上を実感しています。
- 当社の物流拠点は小名浜にあり、石川町等に配送しているのですが、小名浜道路によって中通り方面への配送も便利になりました。

出典: 令和7年度ヒアリング調査

常磐自動車道と一体となった高規格道路ネットワークを形成し、
福島県内外を結ぶ**広域物流を支援**

小名浜道路を利用した広域物流ルート

常磐自動車道と接続した高規格道路であることから、
いわき市と福島県内外を結ぶ**広域的な物流ルート**を形成



企業・工場立地状況

小名浜道路周辺には、小名浜臨海工業団地(386.5ヘクタール)を中心に
複数の工業団地が立地しており、**多数の企業・工場の物流に利用**



出典：福島県提供の航空写真をもとに編集

《石油を運ぶ物流事業者の声》



- ・ 車庫がいわき泉ICとの間にあるので大変便利です。
- ・ いわき市外への配送時には、**小名浜道路を頻繁に利用**しています。

《紙を運ぶ物流事業者の声》



- ・ 当社は首都圏に9割、仙台に1割配送しています。開通前はいわき勿来ICを利用していましたが、**開通後はいわき小名浜IC**を利用して配送しています。
- ・ また、小名浜道路による交通利便性の高まりを受け、現在、小名浜道路付近で**物流センターの建設計画**を進めており、県外企業に対して**中継物流拠点**の誘致を実施しています。

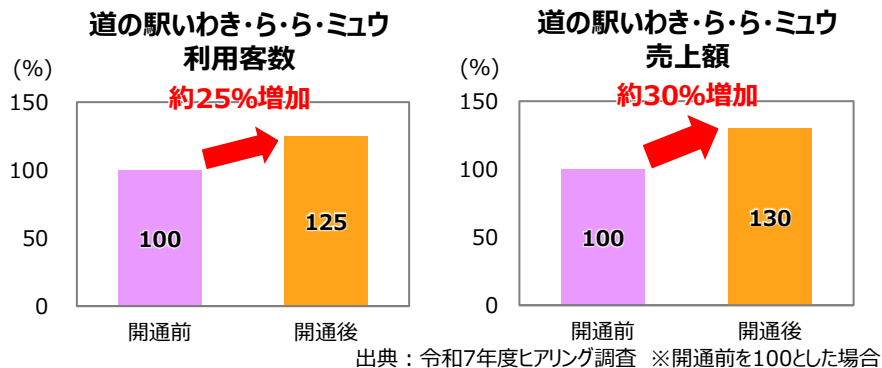
出典：令和7年度ヒアリング調査

小名浜エリアの観光施設における利用客数・売上額が増加

小名浜・湯本エリアの周遊観光を支援

小名浜エリアの観光施設利用状況

アクセス向上により、**小名浜エリアの観光施設利用が増加**
 「道の駅いわき・ら・ら・ミュウ」では、小名浜道路開通前と比較して
利用客数、売上額が約3割増加



出典：道の駅いわき・ら・ら・ミュウHP

【集計期間】
 開通前：R6.9.12～R6.11.30
 開通後：R7.9.12～R7.11.30

小名浜道路開通後の
 観光需要増加を実感

《道の駅関係者の声》



- 小名浜道路の開通前後を比べると、道の駅の**利用客数、売上額ともに増加**しています。
- 当施設へ立ち寄る旅行会社には、小名浜道路の開通を周知し、利用していただけるように案内を行っています。

出典：令和7年度ヒアリング調査

小名浜道路周辺の主要観光施設

小名浜道路は、小名浜・湯本エリアの**周遊観光**を支援する道路としても機能



出典：いわき市提供

《観光利用者（50代男性 新潟県在住）の声》



- 小名浜道路により、移動時間が短縮できたことで、**色々な観光施設を訪問**することができました。

《観光利用者（60代男性 福島市在住）の声》



- 渋滞が少なくスムーズに走行できました。
- いわき市の**観光地巡りをする基幹道路**として利便性が高いと感じました。

出典：令和7年度webアンケート調査

小名浜道路を利用した広域的な高速バス路線や観光ツアーが誕生 県外からの観光客来訪を促進

小名浜道路に関連する観光動向



写真出典：福島県、出典：令和7年度ヒアリング調査

小名浜道路を利用する高速バス路線

小名浜道路開通を受け、小名浜～東京間を結ぶ新規高速バス路線が誕生



出典：いわき市HP

《バス会社の声》

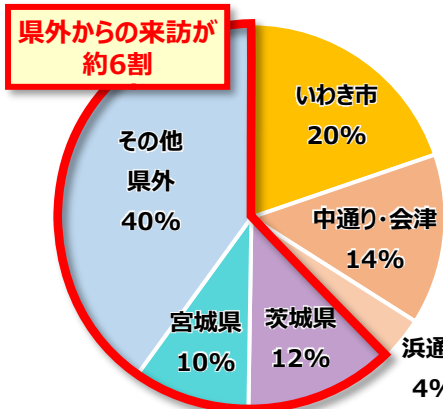


- 首都圏へのアクセス性が大きく向上したことを受け、新たに高速バス路線「小名浜～東京線」を開設しました。
- 首都圏と直接結ぶ公共交通手段となることで、地域の利便性向上および交流人口の拡大に寄与すると思います。

出典：令和7年度ヒアリング調査

道路利用者による利便性向上の実感

観光等を目的とした県外からの来訪者も小名浜道路開通による利便性向上を実感



(サンプル数400)



- 移動時間が短くなり観光施設に滞在する時間が長くとれるようになりました。(50代女性 宮城県在住)



- レンタカーのカーナビに入っていませんでしたが、標識で小名浜道路を知って乗ってみたら、目的地の近くまで行けて便利だと感じました。(40代女性 群馬県在住)

【調査概要】

調査対象者：観光等を主な目的とした小名浜道路の利用経験者
 配信地域：常磐自動車道および磐越自動車道の利用が想定される東北6県（青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県）、関東1都6県（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）、新潟県

出典：令和7年度WEBアンケート調査

小名浜エリアは地域経済の中心として、商業施設の開業等が進展 賑わい創出による更なる地域経済活性化に期待

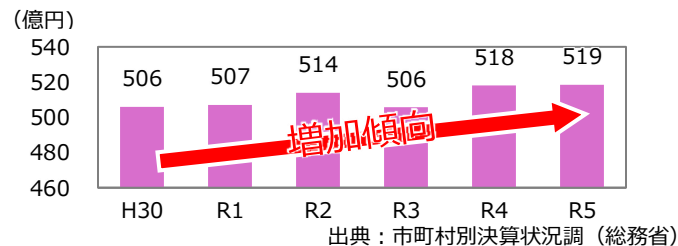
小名浜エリアの活性化

小名浜エリアは地域経済の中心として、近年、商業施設の開業等が進む
小名浜道路開通により、人流の増加や賑わい創出を通じた更なる地域経済活性化に期待



いわき市の地方税収

更なる地域経済活性化に期待



いわきFC・新スタジアム

いわきFCのスタジアム移転候補地として、小名浜
エリアに約1万人規模のスタジアム新設を検討中



出典：「小名浜港周辺エリアにおける防災・交通対策協議会」資料

《大型商業施設の声》



- 小名浜道路の開通により、北茨城市、日立市からの来館が増加しています。
- また、商圈（来訪者のエリア）が拡大していると思います。

《商工関係者の声》



- 小名浜港周辺の商業施設へのアクセスが改善し、来客数の増加を感じています。
- 特に週末や休日は、これまで以上の賑わいがあります。

《新スタジアム関係者の声》

- 規模・交通アクセス・経済効果など様々な観点で検討を行った結果、小名浜地区が最も良い候補地となりました。
- 防災・交通対策協議会にも参画し、官民連携での小名浜地区の価値向上に貢献していきたいです。

常磐自動車道と小名浜港(物資受入れ港)を繋ぐ緊急輸送道路網を構築 大規模災害時における県内各地への円滑な物資輸送に期待

緊急輸送道路網

小名浜道路は、第一次緊急輸送道路の常磐自動車道と物資受入れ港※の小名浜港を接続する緊急輸送道路ネットワークを構築



※物資受入れ港：海路からの緊急支援助物資や資材等の受入れ拠点として 県内3箇所の港湾、漁港を指定 (小名浜港、相馬港、舘戸漁港)

出典：福島県地域防災計画（一般災害対策編）R7.7修正
国土数値情報（緊急輸送道路データR6年度、津波浸水想定データR5年度）
国道6号の通行止めについて【第3報（終報）】R7.7.30（国交省）
【令和7年7月30日 津波】最終報告（いわき市）

大規模災害時の物資輸送

災害時は、物資受入れ港の小名浜港から常磐自動車道を経て、県内各地への物資輸送を実施
小名浜道路の開通により、内陸部等への円滑な物資輸送に寄与



出典：福島県提供

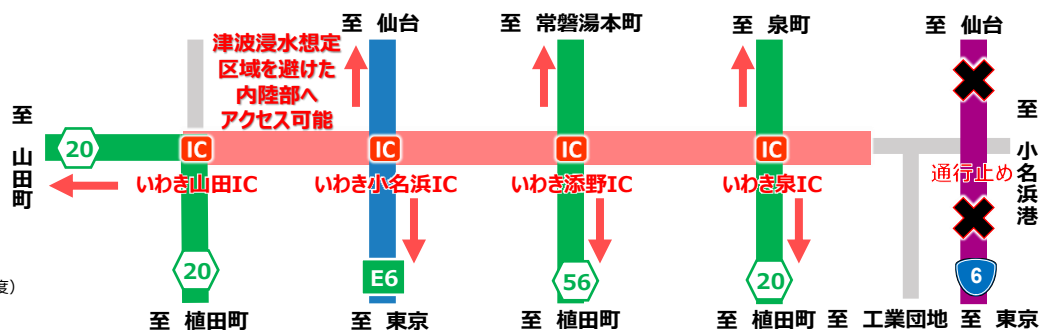


出典：福島県提供

▲東日本大震災時の物資受入れの様子

津波警報時における接続道路としての活用

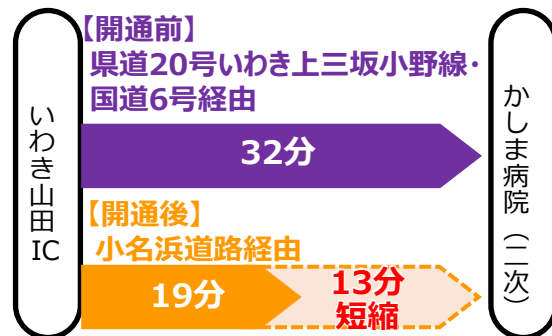
津波警報時は、小名浜道路が内陸側へ繋がる接続道路として重要な役割
国道6号通行止発生時においても、並行する南北軸道路へアクセス可能



小名浜道路を利用した救急搬送は、開通後約半年で25件 搬送時間の短縮・傷病者の負担軽減に貢献

小名浜道路を利用した救急搬送

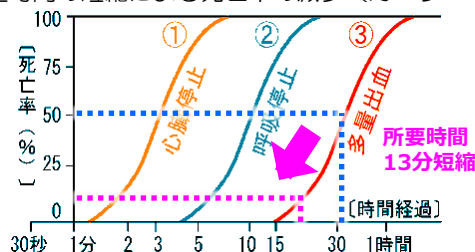
救急搬送による小名浜道路の利用は、開通後約半年間で25件



救急医療機関への
搬送時間短縮

※令和3年度全国道路・街路交通情勢調査の混雑時旅行速度を用いて算出
対象外道路は40km/h、小名浜道路は設計速度80km/h

【搬送時間の短縮による死亡率の減少（カーラーの救命曲線）】



搬送時間の短縮により
救命率向上に寄与
多量出血の死亡率が
約53% → 約13%

- ①心臓停止後約3分で50%死亡
- ②呼吸停止後約10分で50%死亡
- ③多量出血後約30分で50%死亡

※死亡率は図の読み取り

《いわき市内の各消防署の声》



- 小名浜道路を利用することで、緊急搬送を要する傷病者を、安定かつ迅速に搬送することができました。
- 搬送時間が短縮することは、大きなメリットです。また、カーブやブレーキなどによる揺れが少ないことは、傷病者の負担軽減に大きく寄与すると思います。
- また、緊急走行時の事故の軽減にも繋がると思います。

出典：第8次福島県医療計画R6.3、いわき市HP（消防本部）、
令和7年度ヒアリング調査 ※一部区間のみを利用を含む、集計期間：R7.8.7～R8.2.9
（内郷消防署、勿来消防署、いわき市消防本部、小名浜消防署、常磐消防署の救急搬送の実績）

出典：令和7年度ヒアリング調査

小名浜道路利用者の声

小名浜道路を利用した一般の方や事業者のみなさんが 様々な**効果を実感**されています

一般利用者の実感



・観光地が多く**お土産を買うのが楽しみ**です。またスパリゾートハワイアンズに行きたいと思います！
(70代男性 山形県在住)



・夫が運転していたのですが、**移動時間が短くなった**と言っていました！
(20代女性 青森県在住)



・以前、いわき市に住んでいて、時々遊びに行きますが、**混雑もなく、気持ちよく走ることが**出来ました！
(60代男性 会津若松市在住)



・空いていて移動時間が短くなりました！今後、**他県からの集客に期待**しています。
(50代男性 東京都在住)



・高速道路からすぐアクセスでき、**信号の多い市街地を通らないため、かなりの時間短縮**になりました！
(60代女性 茨城県在住)



・小名浜道路で**渋滞ストレスが減って**今までより、いわき方面の**移動が楽**になりました。
(60代男性 神奈川県在住)

事業者の実感



・開通後は**遅延が減り、配車する時間に余裕**ができたほか、**燃料等の運行コストを抑える**ことができました。
(貸切バス会社の声)



・開通後、企画展の実施もあり8月から翌年1月の**入館者数は前年比の約4%増加**しました。
(観光施設の声)



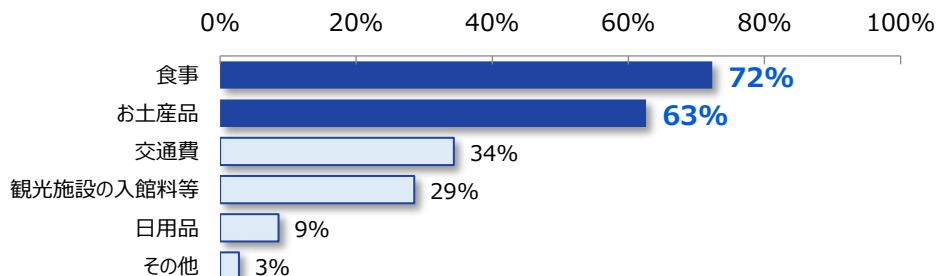
・首都圏からの観光アクセスがよくなり、**小名浜に集客効果**があると感じます。従業員からは**通勤面でも便利になった**と聞いています。
(お土産品製造会社の声)



・急な顧客先（卸売市場）への納入が可能になりました。今まで高速道路に乗るのはいわき勿来ICまで30分程度かかっていたのですが、**すぐ乗れるようになり、東京方面への営業活動の負担が減りました**。
(かまぼこ店の声)

一般利用者の購入品目

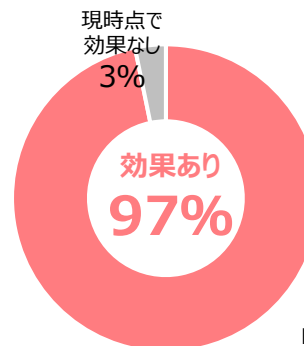
主に観光を目的とした小名浜道路利用者のうち、6割以上が食事やお土産を購入



出典：令和7年度webアンケート調査

事業者の効果

小名浜道路を利用した事業者の97%が、**企業活動で有益な効果を実感**



N=31



▲スムーズに通行可能な小名浜道路

出典：令和7年度ヒアリング調査